

経営協議会の学外委員からの意見を法人運営の改善に活用した主な取組み
(令和元年度実施分)

令和元年度第1回経営協議会(令和元年6月27日)

○共同研究について、埼玉大学がどのようなツールを持っているのか理解されていないところがあるため、大学側から積極的にアピールしていく必要があると思う。その点を踏まえ、今後どのように活動していくか検討してもらいたい、という意見があった。

- ・これまで埼玉大学産学官連携協議会での活動、オープンイノベーションセンターにおける技術相談、各種研究発表会・展示会等イベントへの参加などを通じて本学の研究成果を公表し、企業等とのマッチングを図ってきたところであるが、本意見を踏まえ、今年度、創立70周年記事の活動として、基礎分野を含めて全人類的な知のフロンティアを前進させる研究に注力するとともに、地元埼玉に足を置いて社会の課題解決に貢献するという使命を果たすため、創立70周年記念出版として「埼玉大学研究マップ」を作成した。

この冊子は、本学の全研究者の研究内容に関する情報を、簡潔な形で網羅したものであり、これを基に、共同研究を含め、各種の協力・連携の可能性を追求していく。